

認可保育所名 **ニチキッズさわやか勝どき6丁目保育園本園**

所在地 中央区勝どき6-3-1 THE TOKYO TOWERS SEA TOWER 3階

電話番号 03-3531-8854

ファックス番号 03-3531-8854

URL <http://www.sawayakahoiku.jp/>

設置者 株式会社ニチイ学館

開園時間 午前7時30分～午後7時30分

延長保育時間 午後6時30分～午後7時30分

休園日 日曜、祝日、年末年始

最寄り駅 都営大江戸線 勝どき駅3番出口 徒歩8分

開設年月日 平成20年4月1日

施設概要 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 58階建て地下2階建 3階の一部

延床面積 575.01 ㎡

1 保育目標・方針

- ・「子どもたちの持つ個性の芽を花ひらかせます」
- ・「個性を尊重し、人との関わりあいを通して思いやりの心を育みます」
- ・「自分自身を表現することで、豊かな感受性・創造力を育みます」
- ・「安心して過ごし、保育者や友達と元気に遊ぶ」
- ・「健康、安全、生活習慣の自立」

2 保育料

- ・保育料については、区の認可保育園の算定方法で決定された保育料になります。  
詳細については、区のホームページ「認可保育園等の保育料について」をご参照ください。
- ・延長保育料：中央区規定による
- ・スポット延長保育料：中央区規定による
- ・その他費用：園帽子、防災頭巾

3 年齢別定員数

0歳児		1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
57日	7ヶ月						
0名	9名	18名	18名	0名	0名	0名	45名

4 職員数

園長	保育士	看護師	調理	その他	計
1名	9名	1名	2名	1名	14名

※保育補助は必要に応じて配置しております。

※詳細については、直接施設にお問合せください。

5 持ち物リスト

- 着替え用衣類 ・ ストック用衣類 ・ 大判バスタオル ・ オムツ
- おしり拭き ・ 食事用のエプロン ・ 汚れ物用ビニール袋
- ※その他必要に応じてお願いします。

6 給食内容について

メニュー例	昼食：ひじきのご飯、けんちん汁、揚げ出し豆腐、ブロッコリーのしらす和え おやつ：フレンチトースト、果物、ミロ牛乳
食育の取り組み	野菜の栽培、皮むき等乳児なりに取り組める内容の食育を行っています。
アレルギー対応について	アレルギー食は基本的に除去対応となります。除去の際は必ず医師の指示書が必要となります。また、除去や解除するにあたっては必ず保育園と保護者で面談を行います。

7 保護者に対する情報提供について

連絡帳(毎日)	園だより(毎月)	クラスだより(年4回)	ほけん便り(不定期)	献立表(毎月)
給食だより(毎月)	その他(各種行事のお知らせ等) さわやか広場(Web上での写真掲載など)			

8 1日の保育内容

時間	保育内容
7:30	開園・順次登園
8:30	自由遊び
9:45	主活動(主に戸外遊び) ※夏はプール遊び
11:00	給食 午睡
14:45	目覚め・排泄
15:00	おやつ
	自由遊び・順次降園
18:30	延長保育
19:30	閉園

※各々のお子さんの月齢等に合わせて過ごします。

9 年間行事予定

季節	行事	【その他】
春	進級・入園式	<ul style="list-style-type: none"> <li>●毎月                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生日会</li> <li>・身体測定</li> <li>・避難訓練</li> </ul> </li> <li>●その他                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会</li> <li>・公開保育</li> <li>・個人面談</li> <li>・定期健康診断</li> <li>・歯科健康診査</li> </ul> </li> </ul>
夏	七夕会 プール遊び 夏祭り	
秋	引渡し避難訓練 運動会	
冬	年末おたのしみ会 修了式・お別れ会	

※実施時期や内容は、年によって変更する場合があります。

10 園長から一言

当園は本園に0～2歳児、分園に3～5歳児が在籍している保育園です。本園は乳児主体の園ですので、ゆったりとした雰囲気の中で、子どもたちが落ち着いて毎日を過ごせるよう環境に配慮した保育を行っております。一方、分園は幼児主体の園ですので、子どもたちが興味を持った様々な活動を保障してあげられるような工夫をしております。外国人講師による英語や運動なども取り入れております。また、本園と分園に分かれているからこそ、異年齢の交流を積極的に行い様々な年齢のお子さんとの触れ合いも大切にしております。